

藤 沢

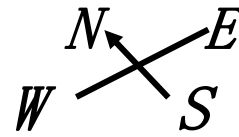
エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議

(略称) 藤沢エコネット

2024年1月5日

第356号



主
な
記
事

- ・ Cop28 世界は化石燃料からの転換で合意
- ・ PFAS とはどんな物質なのか Ⅲ
- ・ 藤沢市長選挙候補者に質問状
- ・ 福島県南相馬をのぞき見

<http://econet2015.sakura.ne.jp>

事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳

☎ / FAX 0466-87-4922

2024 年のいばらの道

2024 年辰年の始まりは、年末から続く暖かい日差しに誘われ、快晴の元日を愛でながらのんびりしていた。ところが、その夕方 16 時 10 分頃、石川県の能登半島を震源にマグニチュード 7.6、震度 7 の大地震が発生。家屋倒壊、道路寸断、電気ガス水道は止まり、輪島市では大規模火災も発生、人口の半数近い 1 万人以上が避難し、食糧等が足りないという。極寒の中の避難生活には、簡易ベッド、清潔なトイレ、温かい食事が求められている。

能登半島の北陸電力志賀原発は停止中だったが、震度 7 の地震で外部電源の一部は使用できなくなり、また配電が壊れ油漏れを起こし、燃料プールの水が床面にあふれるなど事故が相次いでいる。近くには原発銀座と言われる福井県の高浜原発・大飯原発・美浜原発・日本原子力発電、計 15 基があり、内 5 基は運転中だ。今のところ異常なしと言われているが心配される。新潟県には東電の柏崎刈羽原発 7 基があり、最近テロ対策不備の運転禁止が解除された。日本海側のこれら多数の原発は、これからも近く起こりうる震度 7 級の地震にどれだけ耐えられるのか非常に心配される。一刻も早い、原発ゼロの日本を求めたい。辰年の始まりの事故続きは今年の予兆なのだろうか。

～～気候危機は気候沸騰と呼ばれるほどになったにも関わらず、相変わらず石油石炭にしがみつき、混焼などの技術でごまかそうとして化石賞をとったかの国。

世界で唯一の被爆国が、核兵器禁止条約に背を向けて批准しない、かの国。

敵基地攻撃能力は、攻撃すれば反撃される必然性。基地だけ地下化を考えて、肝心の国民の事を考えていない、かの国。

防衛費を 2 倍に増やして国民の生活と暮らしにしわ寄せし、国民を苦しめる、かの国。

～～食料自給率はカロリーベースで 38%、これを 2 倍に増やそうよ！

ウクライナとガザでおこなわれている痛ましい戦争。どの国も言い分はある。だからと言って暴力に訴える、すなわち戦争はいけない。国連憲章を守ることが大切！

東南アジア諸国連合 (ASEAN) では対話が大切と年 1500 回 (!) も対話しながら平和外交を展開しているという。隣国とたくさん対話しようよ。平和外交を！

(青柳節子)



市役所 9 階展望デッキからの富士山

COP28 世界は化石燃料からの転換で合意！！

世界の 200 近い国々が協力して脱炭素化に取り組むことを約束したパリ協定。この実施や追加ルールを議論する国連気候変動枠組条約締約国会議（COP28）が、アラブ首長国連邦ドバイで、11/30～12/13 に開催され、エネルギーシステムにおいて「化石燃料からの脱却」していくことに合意しました。

交渉は難航したが、「化石燃料を転換し、脱化石燃料の実現。特に 1.5℃に気温上昇を抑えるために 2030 年頃までの 10 年にその行動を加速させる」と合意したことは、歴史的転換点と言っても過言ではありません。

2025 年提出期限の次期国別目標（NDC）に向けた取り組みが重要。2015 年にパリ協定が策定されたが、このままの各国の取り組みでは、最終目標である「世界の気温上昇を 1.5 度に抑える」ことには届かない。

「化石燃料の段階的廃止」で議論がされ、「化石燃料の脱却」となったが、重要なことは、各国の次の削減目標に向けた取り組みで 2023 年 3 月に発表された IPCC 第 6 次評価報告書で示された、世界全体に必要な削減水準がしっかり書き込まれたこと。

特に、気温上昇を 1.5℃に抑えるためには、「2035 年までに GHG 排出量を 2019 年比で 60%削減が必要」という点について、次回 NDC 提出時（2025 年が提出期限）に、どのように考慮したかの説明が求められ、日本も含めた各国は問われています。

日本はどう受け止めるべきか？ 化石燃料からの転換の方向性が国際社会の総意として決まったことを受けて、日本としてもそれを踏まえた次の削減目標では、2035 年 60%（2013 年比）を最低基準とした削減目標に向けて、早期に国内検討を始めることが課題となった。

国内での省エネと再エネの徹底やカーボンプライシングをはじめとした実効的な脱炭素対策に加え、ペロブスカイト太陽電池や水素発電技術の実用化、普及の加速化が求められています。一方、アンモニア発電のような石炭火力延命策や原発再稼働で良いのか？さらに、これらを海外支援に拡張してよいのか？国民的議論が求められている。

そのために、第 7 次エネルギー基本計画の改定（2024 年予定）及び 2025 年に提出される次期 NDC の



©DESIGNALIKE

策定に向けて、より多くの自治体や市民団体などが積極的に声をあげていくことが重要である。

（宮地俊作）

PFAS とはどんな物質なのか Ⅲ

2002 年 OECD の報告書では PFOS の人への有害性が指摘されました。この時点でこの物質が高蓄積・難分解であることから、すぐに製造中止すべき物質と判断されました。その後、当時大量に製造されていた PFOA の研究が進められ、同様に危険な物質と判定され規制されることになりました。そのため、ここでは特に人有害性について以下まとめます。

【体内動態】化学物質の人の健康への影響は、まず体内動態（挙動）の動物試験から始められます。その結果、PFAS の多くは消化管から容易に吸収されることが分かりました。そして体内では血漿等に分布しますが、ある種の PFAS は肝臓に蓄積する性質がありました。さらに体外への排出については、短鎖のものは速やかに排出されるのに対して、PFOS、PFOA などは半減するのに数年を要することまた、この物質は母体から胎児への移行することが分かりました。

【PFOS、PFOA の有害性】

PFOS は、腎臓がん、抗体反応の低下（ワクチン接種による抗体ができにくい）、乳児・胎児の成長・発達への影響などと関連することが分かりました。それ以外への影響も示唆されたましたが確定はできませんでした。

次に PFOA ですが、これは最近になって発がん性があることが分かりました。

【リスク評価】

ではどれほどの暴露量で影響がでるのでしょうか？現段階では人の血漿中の濃度が 1 ミリリットルあたり 20 ナノグラム（ng）を超える状態が続くと健康へのリスクが高く、2ng 未満だとリスクは低いようです。ただし、子どもや妊婦は 2-20ng で健康に影響ありと判定されています。

最近になって、静岡県の工場の労働者の血漿中濃度が、20ng 超と報道されましたが、この例は特殊でしょう。非汚染地域の一般の方の血漿中濃度は、はるかに低いようですが、今後も研究は続きますので注視していきましょう。

（菅谷芳雄）

藤沢市長選挙 2/18に

藤沢市長選挙が来る2月18日に行われます。

市民の声を反映する市政を実現できるでしょうか。環境問題について候補者に質問をしました。回答は2月号に載せ公開します。

市長立候補予定者への環境に関する公開質問

質問1. 猛暑や豪雨の被害が甚大になり地球温暖化対策が急がれます。市長に当選した後、取り組みたい2050年ゼロカーボン・脱炭素都市藤沢のビジョン及び災害対策を100字以内で記述をお願いします。

質問2. 藤沢市は2021年2月に「気候非常事態宣言」を発し脱炭素社会を目指しています。私たちは温室効果ガスを削減すべく、藤沢版の「気候時計」を掲示、スタンディングなど啓発運動を行っています。昨年、藤沢市は地球温暖化対策実行計画を改定しました。「気候市民会議（自治体と環境政策対話研究所、地球環境戦略研究機関、市民団体などの協働事業）」が広がりをを見せていますが藤沢市も必要と思いますか。

① 必要と思う ② 必要ではない ③ その他

質問3. 政府は2030年度電源構成に占める原子力発電比率20～22%に向けて原子炉の再稼働を進めるとしています。放射性廃棄物の最終処分場も決まっています。大地震やテロ・戦争等による原子力施設の破壊が心配されます。原発を推進することに賛成ですか。① 賛成 ② 反対 ③ どちらでもない

質問4. 再生可能エネルギーの促進に向け太陽光発電システムの学校・公共施設への拡充や個人・集合住宅等、及びソーラーシェアリングへの補助を増やしていくことが求められます。市長に当選した後、そのための予算を増やしますか。

① 増やします ② 現状のまま ③ その他

質問5. 戦争は環境破壊の最たるものです。核兵器禁止条約を69カ国が批准しました。

日本は唯一の被爆国でありながら批准していません。市長に当選した後、日本も批准すべきとの意見書を国に提出しますか？

① 日本は被爆国であり、批准すべきとの意見書を提出します。② 日本は批准すべきではないので意見書を提出しません。③ どちらとも言えない。

質問6. 藤沢市は長年、北部方面の区画整理事業に莫大な市税を出し続けています。市街化調整区域を市街化

区域に変更し、開発を続けていますが、農地や緑地を減らし建物を建設し、人口を増やす政策についてどう考えますか。

① このまま続ける ② 開発を中止する ③ 分からない

質問7. 有機フッ素化合物（PFAS）について、引地川を汚染している化学物質の健康被害が懸念されます。井戸水や、血液の検査など積極的な施策を行うことを望みます。市長に当選した後、対策を行いますか。

① 井戸水や血液の検査を行う ② 汚染の根源がどこかもはっきりしないので検査をしない ③ その他

ご協力ありがとうございました。

福島県 南相馬をのぞき見

南相馬市から「福島子どもたちとともに・湘南の会」に全国からのボランティア団体の「感謝の集い」の招待を受け11月18日に2人で参加しました。藤沢エコネ



ット読者の皆様には私たちの保養活動への様々な援助を頂き、改めて感謝申し上げます。

JR常磐線の車窓から見た風景は、2017年に見た時と違い、放射能汚染土を入れたフレコンパックはひとつも見当たらない。汚染土は中間貯蔵施設に持ち込

まれ放射能の基準値8000Bq/kg以下の土は埋め立てや路盤工事に使われるようです。

福島に入ると太陽光パネルの設置がいたるところに目に入ります。見渡す限りの広大なメガソーラー施設もありました。また、防潮堤の内側に松などを植え、震災前のような風景を想定して苗木を植えた畑も海岸の近くに多く見られました。

保養に参加していたEさんに久しぶりに会いました。彼女は孫を連れて藤沢でリフレッシュ保養をされ、エコー検査も積極的にされていた方で、そのお孫さんも大学生に、妹は中学生に。「トモダチプロジェクト」に参加していて全国のダンス公演に呼ばれているそうです。そんな出会いがあり、

(次ページへ)

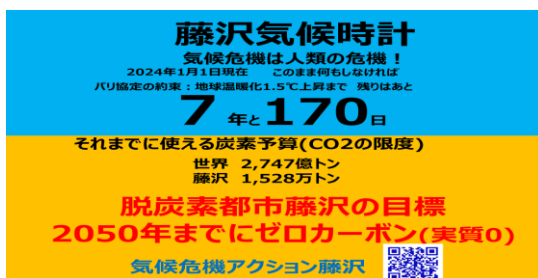
Eさんは式典が終わった後、小高駅近くの「おれたちの伝承館」まで車で送って下さったのです。福島の人々は本当に親切、「コンビニは無いかしら？」とつぶやくと付近にいた人が、「ここから15分ぐらい歩くとありますよ」と、他にも何度か親切に触れました。

駅ごとに放射線量を計っていましたが繁華街の原ノ町駅は0.06 μ Sv/hと低いですが、小高は0.98 μ Sv/hや浪江は0.12 μ Sv/hと高いです。

南相馬市は復興と発展のビジョンを掲げていますが、人口の減少、小高区の子どもの帰還は1割ほどの対策、農業、産業など問題が多く復興は道半ばの状況です。「相馬流れ山踊り」は陣羽織に袴姿の400年続く伝統ある踊りと「相馬野馬追い」の映像は迫力あり観光のためには欠かせない行事だと思いました。

市内の状況をバスで案内されました。南相馬市の一番の売りは、復興のために最も力を入れている「福島ロボットテストフィールド」の実験施設でした。国の「福島イノベーション・コースト構想」事業で、多くの研究者が集り災害時や未来の予測を実証実験、ドローン・ロボットの性能や操縦訓練も行う施設。その広大な敷地にも驚きました。被災地が変わっていく風景とも言えます。1泊2日、言葉では尽くせない光景とふれあいを深めたかけあしの旅でした。

(荒井)



これまでの計算では5年と227日で、2,370億tとなりますが、時間が延びました。炭素予算についての新しい論文(グローバル・カーボン・プロジェクトの報告書では1年間のCO2排出量が368億t-CO2/年となりました。これまで、1年間のCO2排出量を400億t-CO2/年としてきたのですが、少し減ってきたことによります。省エネが進んだのではなく、CO2排出量が減ったことによります。

ECONET INFORMATION

▲神奈川県 茅ヶ崎母親大会

1月14日(日) 茅ヶ崎市民文化会館

10時～分科会 ①映画「原発を止めた裁判長」
②「日本の食料と農業いま、あした」
③「軍拡ではなく憲法で日本と国民を守る」ほか
13時～ 記念講演「真実を伝え人権を守る報道を」

望月衣塑子(東京新聞記者 ジャーナリスト)

1000円 映画 500円 小中高生無料

主催:同実行委員会 045-641-8815

▲「急速に変わる食の生産」

講師 印鑰(いんやく)智哉さん

1月14日(日) 14:00-16:00

場所 エコストアパパラギ2階 ¥2200円

主催/申込み 0466-50-0117

主催/NPO 気候危機対策ネットワーク

▲田中優子さん講演会

「戦争ではなく平和の準備を」

1月20日(土) 13:30- 1000円

文教大学湘南キャンパス 1031 教室

主催 ピースカフェ茅ヶ崎

0467-53-4448 おごせ 駐車場あり

▲気候危機アクション藤沢スタンディング

気候危機は人類の危機 脱炭素都市藤沢の実現に向けて！ どなたでも参加できます

とき 2024年1月26日(金) 15:30-16:30

藤沢駅北口(雨天の時は南口)

主催/NGO 気候危機アクション藤沢

▲藤沢エコネットから

◆訂正 12月号 356号→355号

◆会員募集 年会費・購読料→2000円

◆事務局会議 1月6日(土)10:00~

六会公民館

《編集後記》新年早々能登半島を襲った大地震、被災者にお見舞い申し上げます。今年は市長選挙が2月に行われるが市民に寄りそった市政を願わずにはいられない。自民党のパーティー券裏金で脱税、隠され企業献金として集めた。この真相を明らかにし金権政治にメスを入れ規制を望む。物価高や増税に苦しむ国民がいるのだから。(H)